

よりよく生きる

各学年の人権学習（参観日）の紹介（3年生）

小春日和（読み物資料）

【資料のあらすじ】

被差別部落出身であった崇司。当時付き合っていた恋人の裕美に、悩んだ末、自分の出身を打ち明ける。それから三年が経ち、崇司と裕美は恋を实らせ結婚へと…。ところが、裕美の両親は大反対。そこから裕美は、地域の学習会に参加するなど、同和問題と向き合っていく。崇司は、二人の愛情の確かさと将来の夢を懸命に語る。大阪の伯母夫婦の理解と協力もあり、裕美の父が、「結納は二月でいいかな。」とつぶやく。それから十年。周囲からも祝福された結婚式をあげ、今では家族三人が楽しい日々を送っている。



なぜ、崇司と裕美は、幸せな結婚ができたのだろう

- ・周りの人たちが被差別部落のことを理解し、崇司を認めて支えてくれたから。
- ・同和問題について学び、理解を深めたから。崇司さんの人柄を見てもらえたから。
- ・親に反対されても、あきらめずに説得をしたことで、理解を得たから。
- ・裕美が、同和問題について向き合おうと真剣に考えたから。

これからの生活で、あなたができることは何でしょう

- ・身近な人に、被差別部落出身の人がいても、差別に参加せず、その人の味方になって一緒に差別をなくしていく。もし、被差別部落出身と相手が打ち明けてくれたら、勇気を出して言ってくれたことに感謝し、これまでと変わらない接し方や生活を一緒にしていく。
- ・無意識のうちにしてしまう差別に気付き、差別をしないようにする。学習した正しい知識を、周りに広めていく。差別を許さない空気をつくって、差別が起こらない環境を整えていく。

今回の資料は、結婚差別に関する内容でした。部落差別は、結婚問題だけでなく、現在はインターネットの掲示板への差別書き込みや、身元調査による差別等の事例なども起こっています。もしも私たちが、差別問題に対する正しい認識を身に付けていたら、私たち自身が豊かで、幸せな暮らしを送ることにつながります。人を差別し、さげすむことから、本当の幸せは得られないと思います。他人や自分の人権を大切にすることとは、人と人とのつながりを豊かにし、周囲のみんなが幸せに暮らしていくことにつながっていくのかもしれない。